

# お知らせ

INFORMATION

No.2022-18  
2022年5月  
病体生理研究所

## 『2022年 検査案内』変更内容一覧のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

さてこの度、当研究所『2022年 検査案内』の掲載事項のうち、2021年4月以降に変更となりました、検査方法・基準値、新規掲載項目などの内容を取りまとめましたのでご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

### 【対象印刷物】

#### ◆ 『2022年度検査案内書』

以上

## 新規掲載項目

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
40	38099	尿中コルチゾール (蓄尿)	蓄尿 5.0	8	冷蔵 (21日)	CLIA	4.3~176 μg/day	3 5 8	124点 生Ⅱ	非抱合型コルチゾールの 測定となります。 酸性蓄尿は不可です。

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
43	16456	sFlt-1/PIGF比	血清 0.6 *1	1 ↓ 7	絶凍	ECLIA	sFlt-1/PIGF比 ≤ 38.0: 1週間以内のPEの非 発症予測 sFlt-1/PIGF比 > 38.0: 4週間以内のPE発症 予測	3 5 7	340点 生Ⅱ *2	*1: ビオチンを1日5mg以上 投与・摂取している患者 からの採血は、投与後、少 なくとも8時間以上経過して から実施してください。

\*2: 区分番号[D008]内分泌学的検査の「31」副甲状腺ホルモン(PTH)の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定できる。

なお、同区分の「注」に定める規定は適用されない。

本検査は、妊娠18週から36週未満の妊娠高血圧腎症が疑われる妊婦であって、以下のリスク因子のうちいずれか1つを有するものに対して実施した場合に、原則として一連の妊娠につき1回に限り算定できる。なお、リスク因子を2つ以上有する場合は、原則として当該点数は算定できない。

(イ)収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧80mmHg以上

(ロ)蛋白尿

(ハ)妊娠高血圧腎症を疑う臨床症状または検査所見

(ニ)子宮内胎児発育遅延

(ホ)子宮内胎児発育遅延を疑う検査所見

本検査を算定する場合は、上記のリスク因子のいずれに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載する必要がある。

また、上記の(ハ)または(ホ)に該当する場合は、その医学的根拠を併せて記載すること。なお、医学的な必要性から、リスク因子を2つ以上有する妊婦において算定する場合、または一連の妊娠につき2回以上算定する場合は、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する必要がある。

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
51	38231	可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	血清 0.4	1 ↓ 5	冷蔵 (14日)	CLEIA	121~613 U/mL	3 5 4	438点 生Ⅱ	腫瘍マーカー包括項目

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
57	16423	尿中ミオグロビン	部分尿 6.0	専 用 容 器	冷蔵 (22日)	CLEIA	2.0未満 ng/mL	3 5 8	135点 生Ⅱ	採尿後、速やかに専用容 器に入れ、冷蔵して下さ い。 凍結は避けて下さい。

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
58	16424	ロイシンリッチα2 グリコプロテイン (LRG)	血清 0.5	1 ↓ 5	冷蔵	LA	16.0未満 μg/mL (炎症性腸疾患の活動 期の判定補助における 参考基準値)*1	3 5 5	276点 生Ⅰ *2	※1 健常者参考値: 6.48~13.92 μg/mL 感染症、リウマチ等の炎症性 疾患、一部の悪性腫瘍におい てLRG値が上昇することがあり ますのでご注意ください。

\*2 血清検体として、LRGを潰瘍性大腸炎またはクローン病の病態把握を目的として測定する場合は、3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、1月に1回行う場合は、その詳細な理由および検査結果を診療録および診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

潰瘍性大腸炎またはクローン病の病態把握を目的として、「LRG」、「便中カルプロテクチン」または「大腸内視鏡検査」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定できる。

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
60	16451	抗カルジオリピン IgG抗体	血清 0.3	1 ↓ 5	冷蔵 (7日)	ELISA	12.3以下 U/mL	3 ↓ 6	226点 免疫 *1	
60	16452	抗カルジオリピン IgM抗体	血清 0.3	1 ↓ 5	冷蔵 (14日)	ELISA	20.8以下 U/mL	3 ↓ 6	226点 免疫 *1	
60	16453	抗β <sub>2</sub> グリオブリン I IgG抗体	血清 0.3	1 ↓ 5	冷蔵 (21日)	CLEIA	0.7未満 U/mL	3 ↓ 6	226点 免疫 *1	
60	16454	抗β <sub>2</sub> グリオブリン I IgM抗体	血清 0.3	1 ↓ 5	冷蔵 (21日)	CLEIA	17.5以下 U/mL	3 ↓ 6	226点 免疫 *1	

\*1:抗カルジオリピンβ<sub>2</sub>グリオブリン I 複合体抗体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。  
抗カルジオリピンIgG抗体、抗カルジオリピンIgM抗体、抗β<sub>2</sub>グリオブリン I IgG抗体及び抗β<sub>2</sub>グリオブリン I  
IgM抗体の検査を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
60	38135	抗リン脂質抗体(APL) パネル	血清 0.6	1 ↓ 7	絶凍	CLIA	抗CL IgG 20.0以下 抗CL IgM 20.0以下 抗β <sub>2</sub> GP1 IgG 20.0以下 抗β <sub>2</sub> GP1 IgM 20.0以下 U/mL	4 ↓ 8	678点 免疫 *1	

\*1:抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、抗カルジオリピン抗体および抗β<sub>2</sub>グリオブリンI抗体の測定を行った場合に、抗カルジオリピン抗体の所定点数の3回分を合算した点数を準用して一連の治療につき2回に限り算定できる。  
抗カルジオリピンβ<sub>2</sub>グリオブリン複合体抗体、抗カルジオリピン抗体、および本検査のいずれか2つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できる

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
63	38161	HIV-1/2特異抗体	血清 0.5	1 ↓ 5	冷蔵 (7日)	イムノ クロマト	(-)	4 ↓ 7	660点 免疫	他項目との重複依頼は避けて下さい。 確認検査(イムノクロマト法)をご依頼の際には、改めて採血しご提出ください。

HIV-1/2特異抗体は、スクリーニング検査としてのHIV-1、2抗体定性若しくは同半定量、HIV-1、2抗原・抗体同時測定定性、HIV-1抗体、HIV-1、2抗体定量又はHIV-1、2抗原・抗体同時測定定量によって陽性が確認された症例について、確定診断を目的として、全血、血清又は血漿を検体とし、イムノクロマト法により測定した場合に算定する。なお、本検査を実施した場合、HIV-1抗体(ウエスタンブロット法)及びHIV-2抗体(ウエスタンブロット法)は、別に算定できない。

HIV-1/2特異抗体(イムノクロマト法)判定基準		
	HIV-1	HIV-2
陽性	p31・gp160・p24・gp41のいずれかが反応し、gp160又はgp41のいずれかを含まず2項目以上の反応が認められる。	gp36・gp140のいずれも反応が認められる。
陰性	p31・gp160・p24・gp41のいずれも反応も認められない。	gp36・gp140のいずれも反応が認められない。
判定保留	陽性及び陰性でない場合。	陽性及び陰性でない場合。

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
67 109	38185	MAC抗体 (抗酸菌抗体定性)	血清 0.5	1 ↓ 5	冷蔵 (15日)	ELISA	判定 : (-) 抗体濃度 : 0.7未満 U/mL	4 ↓ 8	116点 免疫	本検査は定性検査です。 抗体濃度を参考値としてご報告いたします。

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断区分	備考
69	38151	鳥特異的IgG	血清 0.5	1 ↓ 7	絶凍	FEIA	判定:(-) セキセイインコ:8未満 ハト :24未満 mgA/L	5 ↓ 11	873点 免疫	

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検 査 方 法	基 準 値 ・ 単 位	所 要 日 数	実 施 料 判 断 区 分	備 考
73	16250	SCCA2	血清 0.3 *1	1 ↓ 7	絶凍	EIA	1.6未満 ng/mL  欄外参照	13 ↓ 27	300点 免疫 *2	*1 SCCA2は、皮膚表皮、唾液、汗、その他の体液などにも存在します。これらが混入あるいは接触した検体、器具などを用いると測定値が高くなる場合があります。検体、器具などを取り扱うときは、常に手袋とマスクを着用して下さい。

\*2 15歳以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として測定した場合は、区分番号「D014」自己抗体検査の「37」抗デスマグレイン1抗体の所定点数を準用して、月1回を限度に算定できます。ただし、本検査と「TARC」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定できます。

### 血清SCCA2値重症度の目安

血清SCCA2値 (ng/mL)	
軽症	1.6～2.6 未満
中等症	2.6～6.0 未満
重症	6.0 以上

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検 査 方 法	基 準 値 ・ 単 位	所 要 日 数	実 施 料 判 断 区 分	備 考
75	16249	m218 Asp f 1 (アスペルギルス由来)	血清 0.5	1 ↓ 5	冷蔵	FEIA	(0)0.34以下 UA/mL	3 ↓ 6	110点 免疫	

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検 査 方 法	基 準 値 ・ 単 位	所 要 日 数	実 施 料 判 断 区 分	備 考
78	32355	SARS-CoV-2スパイク 蛋白/Total抗体	血清 0.5 注	1 ↓ 5	冷蔵	ECLIA	判定:(-) 濃度:0.8未満 U/mL	5 ↓ 7		ピオチンを1日5mg以上投与・摂取している患者様からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。
78	32351	SARS-CoV-2抗体Total	血清 0.5 注	1 ↓ 5	冷蔵	ECLIA	判定:(-) COI 1.0未満	5 ↓ 7		

注) SARS CoV 2 感染 (PCR 陽性) および感染を強く疑う患者検体 (PCR 検査を保健所もしくはPCR 検査所へ紹介する必要がある患者検体) はカテゴリー B の三重梱包でご提出ください。三重梱包の資材は、貴院にてご用意ください。当研究所でも提供可能です。

頁	コード	検査項目	検体 必要量	容 器	保 存	検 査 方 法	基 準 値 ・ 単 位	所 要 日 数	実 施 料 判 断 区 分	備 考
94	16806	EGFR遺伝子変異解析 コバスv2	未染スライド 5枚 (5μm厚)		室温	リアルタイム PCR	検出せず	6 ↓ 9	2500点 遺・染	

肺癌の詳細な診断および治療法の選択を目的として患者本人に対して行った場合に限り、原則患者1人につき1回に限り算定できます。算定に当たっては、「EGFR遺伝子検査(リアルタイムPCR法)」と診療報酬明細書の摘要欄に記載する必要があります。肺癌においては、再発や増悪から2次的遺伝子変異等が疑われ再度治療法を選択する必要がある場合にも算定できます。EGFR遺伝子変異解析コバスv2(血漿)と同一月に併せて行った場合は、主たるもののみ算定できます。「悪性腫瘍遺伝子検査」、「造血器腫瘍遺伝子検査」、「免疫関連遺伝子再構成」、「FLT3遺伝子検査」または「JAK2遺伝子検査」のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定できます。患者から1回に採取した組織等を用いて同一がん種に対して悪性腫瘍遺伝子検査を実施した場合は、次の通り算定します。2項目:4000点。3項目:6000点。4項目以上:8000点。

## 検査内容変更一覧

頁	コード	検査項目	変更箇所	新	従来	変更日
2	30008	LD (IFCC)	保存 安定性	冷蔵 (3日)	冷蔵 (14日)	20220516
13	10044	無機リン (IP)	検査方法	酵素法	モリブデン酸UV法	20220404
			基準値	2.7~4.6 mg/dL	2.5~4.5 mg/dL	
	10183	無機リン (IP) 蓄尿	基準値	0.40~0.80 g/day	0.50~1.00 g/day	
15	10240	ビタミンB <sub>12</sub> (VB <sub>12</sub> )	検査方法	ECLIA	CLIA	20220404
			基準値	197~771 pg/mL	233~914 pg/mL	
15	10160	葉酸	検査方法	ECLIA	CLIA	20220404
			基準値	3.9~26.8 ng/mL	3.6~12.9 ng/mL	
			保存 安定性	冷蔵 (7日)	冷蔵 (21日)	
24	11863	カドミウム (Cd)	検査方法	ICP-MS	原子吸光法	20220401
			所要日数	5~9日	7~13日	
24	12783	セレン (Se)	検査方法	ICP-MS	原子吸光法	20210930
			基準値	10.0~16.0 μg/dL	10.6~17.4 μg/dL	
			所要日数	4~6日	6~12日	
29	12407	プロプラノロール	所要日数	5~19日	5~12日	20210902
35	12191	ソマトメジンC (IGF-I)	検査方法	ECLIA	RIA固相法 (IRMA)	20220228
			検体 必要量	0.5mL	0.4mL	
			保存 安定性	冷蔵 (7日)	絶凍(21日)	
			備考	年齢を明記してください。 1年間、変更項目コメント 『O(オ-)』を付記致します。		
35	10264	ACTH (副腎皮質刺激ホルモン)	備考欄	注③早朝空腹、安静時に採 血し、速やかに血漿分離し てください。	注②日内リズムがある 為早朝空腹時、安静臥 位にて採血してください。	20220516
			検体取扱 い方法	早朝空腹、安静時に採血 し、速やかによく混和させ 血漿分離し、血漿を絶凍用 試験管に移し、凍結してく ださい。	日内リズムがある為、 早朝空腹時、安静臥位 にて採血してください。血漿分離し血漿を 絶凍試験管に移し、凍 結してください。	
37	10054	T <sub>4</sub> (総サイロキシン)	検査方法	CLEIA	ECLIA	20210902
			基準値	4.53~8.38 μg/dL	6.10~12.40 μg/dL	
			報告範囲	0.50未満 0.50~99900000	0.42未満 0.42~24.8以上	

頁	コード	検査項目	変更箇所	新	従来	変更日
37	10238	T3 (トリヨードサイロニン)	検査方法	CLEIA	ECLIA	20210902
			基準値	0.62~1.16 ng/mL	0.80~1.60 ng/mL	
			報告範囲	0.20未満 0.20~99900000	0.20未満 0.20~6.50以上	
39	12405	セロトニン	所要日数	4~9日	4~8日	20210902
40	10258	コルチゾール	検査方法	ECLIA	CLIA	20220404
			基準値	午前6時~10時 7.1~19.6 μg/dL	4.5~21.1 μg/dL	
			備考欄	削除	日内リズムがある為早朝空腹時、安静臥位にて採血してください。	
42	非 10525	E2 (エストラジオール)	検査方法	ECLIA	CLIA	20220404
	妊 10528		基準値	欄外参照		
42	17463	抗ミューラー管ホルモン	検査方法	CLEIA	ECLIA	20210902
			保存 安定性	冷蔵 (21日)	冷蔵 (28日)	
			基準値	欄外参照		
45	14920	肺サーファクタント プロテインD (SP-D)	検査方法	CLEIA	EIA	20210902
			検体 必要量	血清0.5mL 冷蔵	血清0.3mL 冷蔵	
			報告範囲	15.0未満 15.0~99900000	17.2以下 17.3~99900000	
49	12734	BFP (塩基性フェトプロテイン)	所要日数	3~10日	3~6日	20210902
50	14200	シアリルL ex抗原 (CSLEX)	所要日数	3~10日	3~8日	20210902
52	16732	I型プロコラーゲン N-プロペプチド (total P1NP)	所要日数	2~3日	3~6日	20220404
			検査 実施先	病体生理研究所	SRL	
54	14529	ER免疫組織染色 (エストロゲンレセプター)	検査方法	免疫組織化学染色法	酵素抗体法	20220319
54	14530	PgR免疫組織染色 (プロゲステロンレセプター)	検査方法	免疫組織化学染色法	酵素抗体法	20220319
54		胃癌HER2タンパク(IHC)	検査方法	免疫組織化学染色法	酵素抗体法	20220319
58	16815	便中カルプロテクチン	基準値 単位	50.0以下 mg/kg 潰瘍性大腸炎の内視鏡的 非活動状態の カットオフ値： 300以下  クローン病の内視鏡的 非活動状態の カットオフ値： 80以下	50.0以下 mg/kg 潰瘍性大腸炎の 内視鏡的 非活動状態の カットオフ値： 300以下	20220404

頁	コード	検査項目	変更箇所	新	従来	変更日
63	14997	HIV抗原・抗体 (スクリーニング)	実施料	127点 D012 19 HIV-1,2抗体定量	112点 D012 16 HIV-1,2抗体定性	20220401
64	31001	HBV DNA定量/単位	名称	HBV DNA定量	HBV DNA定量 /単位	20220516
83	13018	単純ヘルペスDNA	検体 必要量	髄液0.7mL 絶凍	髄液0.5mL 絶凍	
				組織50mg 絶凍	組織5mg 絶凍	
89	11634 11635 11636	LST	備考欄 欄外	注①、3.ヘパリンが起 因薬剤と疑われる場 合は、すべての採血 管にNK細胞活性化 容器をご使用くだ さい。容器については 別途ご注文くだ さい。	注①、3.ヘパリンが起 因薬剤と疑われる場 合は、NK細胞活性 容器をご使用くだ さい。	20220516
109	17412	T-SPOT・TB	保存 安定性	室温18～25℃ (32時間)	室温18～25℃ (36時間)	20220404

抗ミュー管ホルモン基準値 (ng/mL)		
女性	22～25歳	0.28～8.01
	26～30歳	0.29～12.2
	31～35歳	0.07～10.0
	36～40歳	9.23以下
	41～45歳	4.48以下

E2(エストラジオール)基準値 (pg/mL)	
男性	15～49
卵胞期	29～197
排卵期	36～526
黄体期	44～492
閉経女性	47以下
妊娠初期 (4週0日～13週6日)	209～4289
妊娠中期 (14週0日～27週6日)	2808～28700
妊娠後期 (28週0日～38週)	9875～31800

## 検査受託中止項目

日付	中止項目		代替項目	
	項目コード	項目名	項目コード	項目名
21年9月	10328	麻疹 (HI)	12318	麻疹IgG(EIA)
21年9月	60618	コプロポルフィリン定性	11816	コプロポルフィリン定量 (尿中)
21年9月	12468	m70 ピティロスポリウム	14687	m227 マラセチア(属)
21年10月	11659	可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	38231	可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)
21年12月	10359	免疫複合体 (IC) (C1q)		
22年2月	17411	キャピリアMAC抗体	38185	MAC抗体 (抗酸菌抗体定性)
22年2月	14196	抗カルジオリピン抗体IgG	16451	抗カルジオリピンIgG抗体
22年2月	12763	抗カルジオリピン抗体IgM	16452	抗カルジオリピンIgM抗体
22年3月	10447	グリココール酸		
22年3月	10273	アンギオテンシン I		
22年3月	10274	アンギオテンシン II		
22年3月	10407	ガストリン		
22年3月	11357	特異的IgE k 74 絹		
22年3月	11290	尿中コルチゾール	38099	尿中コルチゾール
22年3月	10269	尿中ミオグロビン	16423	尿中ミオグロビン
22年3月	38117	肺癌EGFR遺伝子変異解析Clamp	16623	EGFR遺伝子変異解析コバスv2
22年5月	13373	HIV-1抗体	38161	HIV-1/2特異抗体
22年5月	14138	HIV-2抗体		

## 正誤表

2022検査案内巻末「最近の受付中止項目及び代替項目一覧」において、下記中止項目が抜けておりました

日付	中止項目		代替項目	
	項目コード	項目名	項目コード	項目名
21年12月	10359	免疫複合体 (IC) (C1q)		

2022検査案内P.63「HIV-1/2特異抗体 (仏ノカマ法)判定基準 注⑦」において下記赤文字が抜けておりました。

正	誤
HIV-1 陽性	HIV-1 陽性
p31・gp160・p24・gp41のいずれかが反応し、 <b>g</b> p160又はgp41のいずれかを含む2項目以上の反応が認められる。	p31・gp160・p24・gp41のいずれかが反応し、 p160又はgp41のいずれかを含む2項目以上の反応が認められる。